

令和元年度

高校生のための

熊大ワクワク

事業の記録



目 次

1. はじめに	1
2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義		
1)開講一覧	5
2)募集案内	6
3)実施状況	24
4)アンケート	27
3. ワクワク研究室訪問		
1)募集案内	41
2)申込用紙	42
3)実施要領	43
4)実施状況	44
4. 令和元年度高大連携推進関係主要行事一覧	47

1. はじめに

高大連携推進プロジェクトは平成24年度に開始し、8年目の本年度（令和元年度）は、「高校生のための熊大ワクワク連続講義」および「ワクワク研究室訪問」の2つの事業を実施しました。本事業の目的は、高校生の皆さんが本学教員による授業や研究室訪問を通して、学問や研究に直接触れ、大学進学や将来の進路に役立ててもらいたい事にあります。

まず、今年度の「ワクワク連続講義」につきましては、継続して実施しております八代地区、玉名地区でのサテライト講義を実施しました。参加者はそれぞれ289名、230名といずれも多くの方々に参加いただきました。8月には熊本大学黒髪キャンパスにおいて、夏季プログラムを2日間実施し、熊本県内外の高校から申込みいただき、2日間で延べ521名と多くの方々に参加いただきました。また、高校を会場としたワクワク連続講義につきましては、水俣高校、天草高校、大津高校、人吉高校、鹿本高校の5校で開講し、各高校ご協力のもと、延べ377名に参加いただき、無事実施することができました。ご協力いただいた高校関係者並びにご参加いただいた高校生の皆さんにはあらためてお礼申し上げます。なお、この取り組みは、高校から好評をいただいておりますので、来年度以降も実施していきたいと考えています。

「ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）」につきましては、本年度は5件が実施され、延べ9名の高校生が訪問されました。訪問後に高校生から提出されたレポートでは、「今回の貴重な経験を将来に活かしていきたい」、「より一層詳しいことを学びたいと考えた」との感想をいただいております。今後も、県内外から多くの高校生に熊大の研究の現場を体験してもらおうべく、引き続き実施していきたいと考えています。

最後に、本事業に参加して本学へ入学してもっと深く勉強したいという意欲のある高校生が増えることを期待しています。

熊大でしかできない研究がたくさんありますし、熊大を卒業して大学や研究所に就職し活躍している学生もたくさんいます。どこの大学に進学するのも大事ですが、実際は何を学んだか、何を身に付けたか、自分の学問や哲学を持っているかがもっと大事です。

ピュアーなところで知を磨け！

2020年3月

教育・学生支援担当副学長 古島 幹雄

2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

令和元年度 開催予定一覧

《受講対象》 高校生および高校教諭等

地域	開催日	授業時間	講師名	専門領域	会場	コマ数
八代	6月15日(土)	[1限] 10:30-12:00	大石 康晴	スポーツ生理学	やつしろ ハーモニーホール	2
		[2限] 13:00-14:30	市川 聡夫	物理学(低温物理学)		
水俣	7月6日(土)	[1限] 9:00-10:30	シムズランダープライアント	人文社会学	県立水俣高等学校	2
		[2限] 10:45-12:15	古島 幹雄	数学		
天草	7月20日(土)	同時2コマ開催 13:30-15:00	濱田 絵美	民法	県立天草高等学校	2
			瀧尾 進	生物学		
夏季プログラム	8月8日(木)	[1限] 10:25-11:55	川越 明日香	教育心理学	本学(予定)	3
		[2限] 12:55-14:25	吉本 惣一郎	ナノ科学・表面科学		
		[3限] 14:40-16:10	河野 宏明	内科学		
	8月10日(土)	[1限] 10:25-11:55	水元 豊文	言語・情報学	本学	3
		[2限] 12:55-14:25	諸石 寿朗	基礎医学		
		[3限] 14:40-16:10	米田 哲也	脳神経MRI物理		
大津	8月31日(土)	同時2コマ開催 13:30-15:00	大野 正久	経済学	県立大津高等学校	2
			首藤 剛	薬学		
人吉	9月28日(土)	同時2コマ開催 13:30-15:00	鈴木 寛之	文化資源学・民俗学	県立人吉高等学校	2
			飯田 全広	コンピュータサイエンス		
荒尾・玉名	10月5日(土)	[1限] 9:00-10:30	伊藤 隆明	病理学	玉名市民会館	2
		[2限] 10:50-12:20	小池 ウルスラ ヘレナ	人文社会学		
鹿本	10月26日(土)	[1限] 9:00-10:30	キタインアルマンドティピギン	化学工学	県立鹿本高等学校	2
		[2限] 10:45-12:15	若色 敦子	会社法・消費者法		

※八代、本学、荒尾・玉名地域については、参加募集は開催1ヶ月前を目処に本学ホームページにて告知・募集を行います。また、該当地区の高等学校へチラシを郵送する予定です。参加希望の方は高等学校の先生を通して申込をお願いします。

【申込・問合せ】
 熊本大学高大連携推進室
 tel:096-342-2712

※申込者が多数定員を上回る場合は高大連携推進室にて調整を行うことがあります。

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

＝令和元年度サテライトプログラム受講生募集案内＝

《開催場所》 やつしろハーモニーホール
《受講対象》 高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場
			担当講師・所属部局	
6/15(土)	1限目 (10:30-12:00)	1	運動・スポーツによる私たちの身体の適応～骨格筋の不思議～ 大石 康晴 教育学部 教授	3階 大会議室
	2限目 (13:00-14:30)	2	超伝導でみえる量子の世界 ー低温での物理学ー 市川 聡夫 理学部 教授	3階 大会議室

担当の先生方へ

《参加申込》各学校毎に、所定の様式によりお取りまとめのうえ、**6月5日(水)**までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【参加申込書様式】熊本大学のウェブページ(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>)で



トップページ → 「入学案内」 → 「高大連携」内の「高校生のための熊大ワクワク連続講義」をクリック。関係ページから、「参加申込書.xls」をダウンロードしてください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、**6月7日(金)**までにご連絡します。
※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

やつしろハーモニーホール案内図



【申込・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

6月15日(土) 1時限 10:30~12:00

大石 康晴 教育学部 教授

テーマ：運動・スポーツによる私たちの身体の適応～骨格筋の不思議～

内 容：運動・スポーツ・筋力トレーニング等により、私たちの体は瞬発力や持久力が向上し、また筋肉ムキムキになったりします。その際、体の内部では、特に筋肉（骨格筋）ではどのような変化が起こっているのでしょうか？

さらに、筋肉を使わなかったり、宇宙環境のような無重力状態では、私たちの体はどのような適応変化を示すでしょうか？今回の講義ではこのようなことについてお話します。

講師紹介：熊本大学教育学部保健体育科で生理学や健康スポーツ科学の授業を担当しています。熊本大学医学部で医学博士の学位取得、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)留学。熊大体育会ラグビー部監督。

スポーツ生理学の中でも特に骨格筋の適応変化について長年研究を行っており、今回の講義では「骨格筋の不思議」について皆さんにお話します。講義終了後に質問コーナーを設けますので、どんどん質問してください。

関連教科またはキーワード：保健体育、医学・生物学、骨格筋、無重力、運動・スポーツ

2

6月15日(土) 2時限 13:00~14:30

市川 聡夫 理学部 教授

テーマ：超伝導でみえる量子の世界 —低温での物理学—

内 容：「超伝導」という言葉で何をイメージされるでしょうか。電気抵抗ゼロやリニアモーターカーでしょうか。物理学的には「マクロな量子現象」という点でも重要な現象です。原子などのミクロな世界で起きている摩訶不思議な現象（「とびとび」の値だけをとる「量子の世界」）を私たちが認識できるマクロなスケールでも観察できるのです。講義では「温度とは何か？」から始めて、低温における物理現象と一緒に、これらの現象を考えます。

講師紹介：「電気抵抗がゼロになる！」最初の超伝導との出会いは、高校生の時に見たテレビの科学番組でした。「永久機関が作れてしまうのでは？」と信じられませんでした。それと同時にもっと知りたいと思うようになりました。そこで、理学部へ進学し、超伝導の研究室を選んでから、そのままずっと超伝導の世界に引き込まれたままです。

関連教科またはキーワード：物理、化学（電磁気学、熱力学、原子、電子）

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 水俣高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《令和元年度サテライトプログラム》

7月6日 (土)

開催場所：熊本県立水俣高等学校 2階 大会議室

1限 9:00-10:30	“That’s Fake News” –アメリカのニュースメディアー シムズ ランダー ブライアント グローバル教育カレッジ 講師
2限 10:45-12:15	黄金分割と黄金数を巡って 古島 幹雄 副学長

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、6月26日(水)までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1**7月6日(土) 1時限 9:00～10:30****シムズ ランダー ブライアント グローバル教育カレッジ 講師****テーマ：“That’s Fake News”ーアメリカのニュースメディアー**

内 容： アメリカのニュースメディアを信じられるのか？“Fake News”とは何か？
本講義では、アメリカで人気のあるニュースソース及び現代のアメリカ社会と文化に対するニュースバイアスの影響を調べます。また、生徒は自分たちのニュース源の類似点と相違点を比較します。なお、本講義は英語を交えたものになります。

講師紹介： アメリカのアリゾナ州から11年前に熊本に来て、英語を教えたり、留学生や高校生をはじめとする、熊本の地域の方々との交流機会を企画しています。熊本大学のグローバル教育カレッジでは、アメリカ社会と文化等について講義を行い、グローバルリーダーコースの課外教育活動を企画しています。

関連教科・キーワード： 現代社会、メディア、アメリカ、英語

2**7月6日(土) 2時限 10:45～12:15****古島 幹雄 副学長****テーマ：黄金分割と黄金数を巡って**

内 容： 線分ABを $AP:PB=PB:AB$ に分割することをABの黄金分割といい、その比 $AP:PB$ を黄金比、 PB/AP を黄金数という。黄金比は最も美しい比とされている。図形的には正五角形の1辺と対角線の比が黄金比である。本講義では黄金数について高校1年で習う2次方程式の話を変え、いくつかの例を紹介しながら黄金数の魅力についてお話しします。

講師紹介： 1987年マックスプランク数学研究所、1991年ゲッチンゲン大学数学研究所とこれまで通算6年近くドイツの研究所や大学で多変数複素解析学および代数幾何学の研究に従事してきた。その間、琉球大学、広島大学を経て、1999年に熊本大学教授として着任し、主に2次元および3次元の複素数の組からなる空間の境界のあるべき姿を複素解析的な手法や観点から研究を行っています。

関連教科・キーワード： 数学、黄金数

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義

天草高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《令和元年度サテライトプログラム》

7月20日 (土)

開催場所：熊本県立天草高等学校
視聴覚教室 ・ 学習センター2階

13:30 - 15:00

日常生活における契約 - いつでも約束は守らないといけない?
濱田 絵美 法学部 講師

養殖海苔の不思議な生き方 (光合成のしくみ)
瀧尾 進 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、7月10日(水)までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

7月20日（土） 13:30-15:00

濱田 絵美 法学部 講師

テーマ：日常生活における契約-いつでも約束は守らないといけない？

内 容：皆さんは、社会における当然のルールとして「自分がした約束は守らなければならない」と考え、行動しているはずですが、【自分の真意とは違う約束】や【守りたくても守れない約束】はいかがでしょうか。この授業では、ここでの約束が「契約」であった場合に、民法ではどのように取り扱われるのか、紹介します。

講師紹介：奈良県出身。高校生の時に社会の構造を知りたいと考えて、法学部進学を目指しました。大学では、身近な事柄を規定している民法の授業が最も興味深かったです。そこでもっと深く知りたいと思って大学院まで進み、現在に至ります。特に、契約を成立させる時に契約内容の重要な点について勘違いをしていた場合＝錯誤について研究しています。

関連教科・キーワード：公民、現代社会、政治経済、倫理、契約、権利、義務

2

7月20日（土） 13:30-15:00

瀧尾 進 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授

テーマ：養殖海苔の不思議な生き方（光合成のしくみ）

内 容：おむすびでお馴染みの海苔は海で栽培された海藻を紙状にしたものです。海苔は黒みが濃いほど味や栄養がよく「色」により商品価値が決まります。しかし、海環境が悪くなると光合成色素が分解され「ノリの色落ち」が起こります。これは、漁師さんには迷惑ですが、ノリにとっては悪環境下で生残るために必要なしくみだと考えられています。授業では、ノリのもつ不思議な性質のうち、色落ちのしくみを「光合成」の点から紹介します。

講師紹介：岡山県出身。高校の頃に光合成に興味を持ち、大学ではホウレンソウやコケ植物を使って光合成の研究をしました。広島大学助手を経て、20年前に熊本大学に赴任した頃、有明海で大規模な「養殖ノリの色落ち」が発生し社会問題となりました。この頃教授となり、そのしくみの解明をめざして研究を開始し、現在も続けています。

関連教科・キーワード：生物，光合成，遺伝子，タンパク質，生物の系統

熊本大学 高大連携推進プロジェクト

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

《令和元年度夏季プログラム》

8月8日(木)	1	1限	10:25-11:55	川越 明日香
	2	2限	12:55-14:25	吉本 惣一郎
	3	3限	14:40-16:10	河野 宏明
8月10日(土)	4	1限	10:25-11:55	水元 豊文
	5	2限	12:55-14:25	諸石 寿朗
	6	3限	14:40-16:10	米田 哲也

開催場所：熊本大学黒髪北キャンパス全学教育棟 受講対象：高校生および高校教諭等



熊本大学のウェブページ (<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>) で、トップページ → 「入試案内」 → 高大連携 内の「高校生のための熊大ワクワク連続講義」でも募集案内がご覧いただけます。

高校の先生方へ：
各学校毎に、所定の様式によりお取りまとめのうえ、7月24日(水)までに、ホームページから「参加申込書.xls」をダウンロードして高大連携推進室へ電子メールにてお申し込みください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させて頂くことがあります。調整を行う場合は7月31日(水)までにご連絡します。

全学教育棟の場所はホームページにてご確認ください。教室は当日の案内看板を確認してください。
※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

8月8日(木) 1時限 10:25 ~11:55

川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授

テーマ：ことばがなくても伝わる！？～心理学の世界への誘い～

内 容：みなさんは、初めて会った人を見て、まずどんなことを考えますか？「この人は〇〇なタイプの人だろう」と予測を立てることはありませんか？

私たちは、ある人物についての断片的な情報から、その人に対するまとまりのある全体像を形成したり、他者に関する情報から、その人の性格を構成する要素を推論していきます。

この講義では、様々なコミュニケーションのあり方について紹介するとともに、実際に体験しながら考えていきます。

講師紹介：鹿児島県出身。長崎大学教育学部に進学をし、小学校教諭を目指していましたが、大学在学中に心理学と教育方法に関心を持ち、研究者の道へと転換。現在、心理学やコミュニケーションに関する科目を担当しています。専門は、高等教育論、教育心理学。青年期の心理をベースに大学における教育改善について研究をしています。

関連教科・キーワード：心理学、コミュニケーション、対人関係

2

8月8日(木) 2時限 12:55 ~14:25

吉本 惣一郎 工学部 准教授

テーマ：ナノサイズのものづくり～日常生活から地球環境保全まで～

内 容：私たちの身の回りには、多くの製品が溢れています。それらの中には最新のテクノロジーに基づいた製品もあります。これらの基盤技術であるナノサイエンスやナノテクノロジーに関する現在の状況について、身の回りにある製品を例に挙げその特徴やものづくりの一端に触れつつ、これからナノサイズのものづくりが活用・展開が期待される分野、そして環境問題について、わかりやすくお話していきます。

講師紹介：1991年に高校を卒業後、大学(学部)、大学院(博士課程)と進み、2000年から大学に勤務しています。30歳代前半までは研究に没頭した生活を続けてきました。結婚後1児の父となり、最近は新幹線や飛行機の未来について子供とディスカッションし、ときに自然の中でキャンプを楽しむ生活を送っています。

関連教科・キーワード：物理・化学・生物

3

8月8日(木) 3時限 14:40~16:10

河野 宏明 医学部保健学科 教授

テーマ：心臓、血管の不思議

内 容：一生涯に渡って、休むことなく、心臓は1日に約10万回動いている。全身のいたるところにはりめぐらされた血管はただの管ではない。ヒトの体の中では、その重さは脂肪組織に次いで大きい重要臓器である。我々は、心臓と血管の絶妙な協調があって血液を全身に送ることができている。日本での死因の1位は癌であるが、2位は心臓血管の病気である。“ヒトは血管とともに老いる”という言葉がある。歳をとると心臓、血管の病気になりやすいことを指している。講義では、心臓、血管の機能と病気との関係を中心に話したい。医学に興味がある高校生に参加いただければありがたい。

講師紹介： 済々黌高校、熊大医学部卒の心臓病専門医師です。大学病院で心臓病について研究と診療を行ってきました。研究の成果は英文で世界に発表しています。NHKクローズアップ現代、NHKスペシャル、読売新聞、などにも出演し、研究成果をお話しています。今までの経験と得られた知見をお話したいと思っています。

関連教科・キーワード： 物理 化学 生物 倫理 経済 数学 英語

医学は高校で学ぶ多くの科目と繋がっています。

4

8月10日(土) 1時限 10:25~11:55

水元 豊文 文学部 教授

テーマ：マンガやアニメなど、身近な文化資源を学問する

内 容：マンガやアニメ、読みますか。好きなアイドルやアーティストは誰ですか。SNSは誰に向けてどんな内容を発信していますか。この4月、文学部に現代文化資源学コースを設置したのですが、どんなことを学ぶかわかりますか。先に述べたものに加え、お祭りや伝統行事なども含め、身近な文化資源について、あれこれかつ深く学ぶことを目的にしています。自分の気になる文化資源を掘り起こし、付加価値を加え、世界発信する方法を一緒に考えませんか。

講師紹介： コミュニケーション論やメディア論を教えています。本学に来る前は電気通信政策総合研究所や慶應義塾大学で、情報通信戦略・政策についても研究をしていました。現在は文学部長として学びの場の充実に取り組んでいます。

関連教科・キーワード： 国語、地理歴史⁴、公民、芸術、情報

5

8月10日(土) 2時限 12:55～14:25

諸石 寿朗 医学部医学科 准教授

テーマ：からだの仕組みを解き明かそう - 医学研究のすすめ -

内 容： みなさんのからだはたくさんの細胞が集まってできています。一つ一つの細胞にはそれぞれの役割があり、彼らが協調してはたらくことで人間というひとつの生命体を維持しています。しかし、中にはがん細胞のように、このルールを無視して思うがままに増え続け、生命体としての機能を保てなくなることがあります。では、細胞はどのようなルールに従って仲良く暮らしているのか、最新の医学研究をもとにその謎に迫ります。

講師紹介： 当初は臨床医を目指して医学科に入学したが、これからの医療を見据えた医学研究の大切さに気づかされ、基礎医学研究者を志す。九州大学にて博士(医学)の学位を取得後、2013年より世界有数の研究機関である米国カリフォルニア大学にてがん研究に従事する。約4年半の海外経験を経て帰国、現職にいたる。基礎医学研究を通して病気の治療法を開発することを目標に、日々研究に奮闘中。

関連教科・キーワード： 生物、医学研究、がん

6

8月10日(土) 3時限 14:40～16:10

米田 哲也 医学部保健学科 准教授

テーマ：世界を支えるMRI技術

内 容： MRIとは磁気(Magnetism)を用いた画像化装置です。主に医療に用いられていますが、研究対象としてだけではなく、人の命を支える医療機器としてこれほど魅力のある機械はありません。本講義で伝えるのは原理ではなく、地方大学から発信された医療用MRI技術が、なぜ世界を支えているのか、何が今、世界から必要とされているのかを伝えたいと思います。そこには、若い皆さんにこそ、直面する問題があることがわかることでしょう。

講師紹介： 物理学科を卒業後、医学部保健学科に入職。物理を武器に医療機器であるMRIの開発を行い、医療職だけでは実現できなかった技術の開発に取り組む。開発された技術が世界中に広がるのを目の当たりにして、異分野交流の大切さに気づく。かく言う本人の、最も好きな研究分野は考古学。正に異分野。

関連教科・キーワード： 物理、化学、生物、数学、国語、英語 ほぼ全て

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 大津高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《令和元年度サテライトプログラム》

8月31日 (土) 開催場所：熊本県立大津高等学校

13:30 - 15:00

経済学とはどのような学問なのだろうかー公共経済の問題について実験を通して考えてみようー
大野 正久 教育学部 准教授

薬を知ろう!~薬学がもたらす幸福社会の実現に向けて~
首藤 剛 薬学部 准教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、8月5日(月)までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

8月31日(土) 13:30-15:00

大野 正久 教育学部 准教授

テーマ：経済学とはどのような学問なのだろうか
－公共経済の問題について実験を通して考えてみよう－

内 容：経済学は、人や企業、政府等、経済活動を行う主体による選択行動について考えるときに役立つ学問であると思われます。講義では、まず、経済学の基本的な考え方について説明します。次に、経済のしくみや公共財の概念について説明します。そして、公共財の供給に関する経済実験を行い、公共財供給における問題や政府の役割について考えていきます。

講師紹介：私は、大学生のときに、様々な経済社会問題について、数学を用いて理論的な分析を行うミクロ経済学に興味をもちました。この学問について専門的に学びたいと思いまして、大学院に進学しました。大学院では、主に地域における政府活動のあり方について理論的な研究を行いました。その後、環境経済の分野についても研究を行ってきました。

関連教科・キーワード：公民科、政治経済

2

8月31日(土) 13:30-15:00

首藤 剛 薬学部 准教授

テーマ：薬を知ろう！～薬学がもたらす幸福社会の実現に向けて～

内 容：「幸福寿命」とは、人々が「幸せ」を感じながら健康的に生きる期間をさし、超高齢化社会を迎える日本にとって、重要なキーワードの一つです。薬学は、化学・生物・物理・医療の知識を基盤として、人々の「幸福寿命」の延伸に貢献する学問です。本講義では、薬に関する一般的知識に基づき病気を治療する「セルフメディケーション」と、万人の健康と幸せのために行われている「薬学研究」に焦点をあて、薬学がもたらす幸福社会の実現についてお話しします。

講師紹介：大分県出身。当初は薬剤師を目指して熊大薬学部に入學したが、大学院博士前期（修士）課程在籍中に、人生を左右する異例の海外留学を経験。帰国後、熊本大学で助手に着任し、薬学博士号を取得後、現在、准教授。熊本大学では、薬学研究に従事しつつ、学生や一般の方々に対して、免疫学・薬学英语・熊大公開講座「薬を知ろう！」シリーズの講師など幅広く講義や実習を担当しています。

関連教科・キーワード：化学、生物、物理、英語、薬学、幸福寿命、超高齢化社会

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 人吉高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《令和元年度サテライトプログラム》

9月28日 (土) 開催場所：熊本県立人吉高等学校

13:30 - 15:00

人吉球磨の妖怪文化 -アニメ「夏目友人帳」の舞台をめぐる旅-
鈴木 寛之 文学部 准教授

科学と工学をつなぐ「情報」の世界 -ついでにAI・ビッグデータの話も-
飯田 全広 工学部 教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、9月18日(水)までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月28日（土） 13:30-15:00

鈴木 寛之 文学部 准教授

テーマ：人吉球磨の妖怪文化

—アニメ「夏目友人帳」の舞台をめぐる旅—

内 容：人気アニメ「夏目友人帳」のロケ地となり、内外を問わず大勢のファンたちが訪れる人吉球磨地域。日本各地でアニメファンによる“聖地巡礼”が話題になって久しいですが、人吉球磨では、喧騒とは無縁の静かなアニメツーリズムのかたちが展開しています。多くの妖怪伝承が残る人吉球磨にファン達は何を求めて訪れ、その動きが、将来地域に何をもちたそうとしているのか、一緒に考えてみましょう。

講師紹介：子どもの頃、水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」がきっかけで民俗学の世界に入りました。今回のテーマである「マンガと妖怪」は自分自身の原点です。いまは、マンガ文化を未来に伝える「合志マンガミュージアム」（2017年7月、熊本県合志市にオープン）を拠点に、マンガを活用したさまざまな地域振興活動にも取り組んでいます。

関連教科・キーワード： 教科＝公民、 キーワード＝妖怪、現代文化資源学

2

9月28日（土） 13:30-15:00

飯田 全広 工学部 教授

テーマ：科学と工学をつなぐ「情報」の世界

—ついでにAI・ビッグデータの話も—

内 容：「コンピュータ」とか「情報」とか聞くと何を思い浮かべるでしょうか。やはり、Googleなどの検索サイトやLineなどのSNS、もっとハッキリとスマートフォンでしょうか。もちろん、どれも正解です。すべて、コンピュータそのものや、その上のアプリケーションです。でも、その実態を説明できる人はいないんじゃないかと思います。講義では、科学と工学をつなぐ情報にスポットをあてて、今はやりのAIやビッグデータ解析などの話もしたいと思います。

講師紹介：コンピュータに関わるようになって約40年になります。最初は、高校生の時に（親に無理やり）買ってもらったPC-8001です。それから、大学を出ると某メーカーでコンピュータの研究開発を15年ぐらいしていました。そして、結局、大学に戻ってきてコンピュータの研究をやっているわけです。意外と飽きないものですね。

関連教科・キーワード： 情報と科学、数学、物理、化学

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

=令和元年度サテライトプログラム受講生募集案内=

《開催場所》 玉名市民会館

《受講対象》 高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場
			担当講師・所属部局	
10/5 (土)	1限目 (9:00-10:30)	1	最強の癌・小細胞肺癌を解剖する 伊藤 隆明 医学部医学科 教授	第1会議室
	2限目 (10:50-12:20)	2	Organized Humanitarianism - The Birth of the Red Cross 「人道主義の組織化 - 赤十字の誕生」 小池 ウルスラ ヘレナ グローバル教育カレッジ 教授	第1会議室

担当の先生方へ

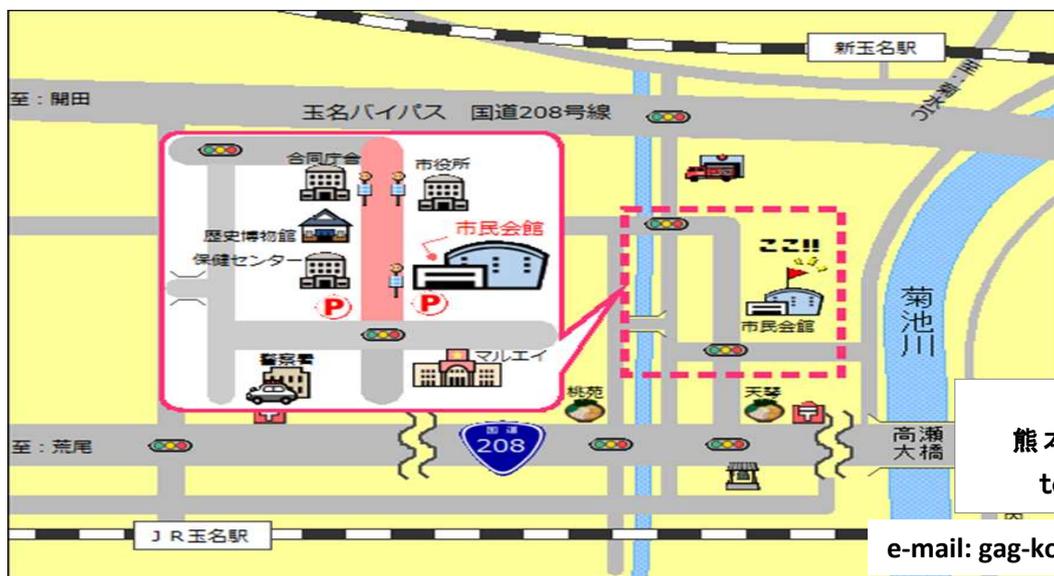
《参加申込》 各学校毎に、所定の様式によりお取りまとめのうえ、**9月25日(水)**までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【参加申込書様式】 熊本大学のウェブページ(<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>)で



トップページ → 「入試案内」 → 高大連携 内の「高校生のための熊大ワクワク連続講義」をクリック。関係ページから、「参加申込書.xlsx」をダウンロードしてください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、**9月27日(金)**までにご連絡します。
※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。



【申込・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1**10月5日(土) 1時限 9:00~10:30****伊藤 隆明 医学部医学科 教授****テーマ：最強の癌・小細胞肺癌を解剖する**

内容：肺癌は、日本人の死因で最も多い癌です。肺癌は、普通のタイプの癌である非小細胞肺癌と小細胞肺癌に大別されますが、小細胞肺癌は、ヒトの罹患する癌の中で最も悪性度の高い癌です。その理由は、この40年間近く新しい治療法が開発されないためなのですが、それは、この肺癌のメカニズム研究が不十分だからと思われます。小細胞肺癌の征圧は、直前まで来ていると予感されますが、本授業では、この癌の私達の明らかにつつま研究について、お話ししたい。

講師紹介：神奈川県横須賀市出身。高校3年生夏までは、父の仕事を継ごうと、経済学部志望。父が病気になり仕事を変えたため、医学部志望に変更。地元の医学部を卒業したものの、患者さんの人生に向き合えるほど人間が成熟していないと思い、寄り道のつもりで、病理学専攻の大学院に進学。結局、基礎医学の道を続け、今日に至る。

関連教科・キーワード：病理学、肺癌、小細胞肺癌、分子メカニズム

2**10月5日(土) 2時限 10:50~12:20****小池 ウルストラ ヘレナ グローバル教育カレッジ 教授****テーマ：Organized Humanitarianism – The Birth of the Red Cross****「人道主義の組織化 – 赤十字の誕生」**

内容：Humanitarianism is compassion towards people in need based on the idea that every human being is valuable. Human compassion has always been around, but formally organized humanitarianism started in the second half of the 19th century with the Red Cross as the most prominent example. Let's have a look at the birth of the Red Cross in different parts of the world and understand the internationally accepted fundamental principles of a global relief organization.

(人道主義は、人間愛の立場から人々の福祉を図ろうとする思想態度と定義されています。人間の思いやりというのは、全ての文化において、常に存在していたと思われるのですが、正式に組織化された「人道主義」活動は、19世紀後半の赤十字の誕生から始まりました。グローバル展開していく赤十字の歴史を学びながら、国際的救援組織の長い活動の中から生まれた基本原則を理解しましょう。)

講師紹介：I was born in Switzerland and graduated from Zurich University in the field of Japanese Studies, especially Japanese modern history. After a scholarship from MEXT for a study abroad program at Tokyo University, I started to teach German at the Tokyo University of Foreign Languages and later at Hiroshima University. I came to Kumamoto University in October 2015. Presently I am a professor at the Kumamoto University College of Cross-Culture and Multidisciplinary Studies and in charge of the Center for Global Communications, where we offer courses taught in English to Japanese and international students.

(私はスイス出身で、スイスのチューリッヒ大学で日本学科、特に日本近代史を専攻しました。卒業後は文部省の留学生として2年間東京大学に籍を置き、その後、東京外国語大学や広島大学などで、ドイツ語講師として活躍しました。2015年の秋、熊本大学グローバル教育カレッジに教授として就任し、英語で授業を提供するグローバル人材教育センターの業務を担当しています。)

関連教科・キーワード：社会、歴史

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 鹿本高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《令和元年度サテライトプログラム》

10月26日(土) 開催場所：熊本県立鹿本高等学校

1限 9:00-10:30	不思議な水と二酸化炭素の話 キタイン アルマンド ティビギン グローバル教育カレッジ 教授
2限 10:45-12:15	会社という「人」／消費者という「弱者」 若色 敦子 人文社会科学部 准教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、10月16日(水)までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

10月26日（土） 9:00-10:30

キタイン アルマンド ティビギン グローバル教育カレッジ 教授

テーマ：不思議な水と二酸化炭素の話

内 容：この講演では、水と二酸化炭素の驚くべき特性について議論し、天然物の抽出や有用な化学物質と燃料へのバイオマスの転換への応用などについて紹介します。特に、規格外海藻及び微細藻類の有効利用についてお話しします。研究だけではなく、21世紀に必要なグローバル人材育成教育についてもお話しします。

講師紹介：フィリピン出身で、23年以上日本に住んでいます。化学工学が専門で、バイオマスを有用な化学物質や燃料に転換するためのグリーン技術の開発に取り組んでいます。熊本大学のグローバル化のイニシアチブも貢献しています。

関連教科・キーワード：抽出、反応、天然物、バイオマス、環境、グリーン溶媒、グローバル化

2

10月26日（土） 10:45-12:15

若色 敦子 人文社会科学研究部 准教授

テーマ：会社という「人」／消費者という「弱者」

内 容：商売の世界では特に顕著なのだが、民主主義（的な手続保障）と効率とは両立しないものであり、後者に傾くのがつまり企業不祥事の主因である。それをどうするかが「コーポレート・ガバナンス」で…という話を本編です。他方、現代の私法は、ヒトは皆平等という理想論を放棄し、消費者という概念を認めた。契約書すらまともに読めないと思定される「弱者」である。それがどう問題になるのかについても本編でお話しする。

講師紹介：大学時代、偶然から商法のゼミに入り、そのまま会社法の研究を続けながら、勤めていた法律事務所の仕事をきっかけに消費者法の勉強も始めた。諸般の事情で「消費生活アドバイザー」の資格も持っている。昨年まで法科大学院、今年度からは法学部をメインに講義を担当する一方、「消費者支援ネットくまもと」等、実務家と組んだ活動もしている。

関連教科・キーワード：現代社会、政治経済、現代国語

高校生のための 熊大 ワクワク連続講義

～ 令和元年度サテライトプログラム 実施状況 ～

1. 《開催場所》やつしろハーモニーホール
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
6/15(土)	1限目 (10:30-12:00)	1	運動・スポーツによる私たちの身体の適応～骨格筋の不思議～ 大石 康晴 教育学部 教授	3階 大会議室	225	209	177	29	2	1	93%
	2限目 (13:00-14:30)	2	超伝導でみえる量子の世界 —低温での物理学— 市川 聡夫 理学部 教授	3階 大会議室	78	80	60	18	0	2	103%
(合計)					303	289	237	47	2	3	95%

2. 《開催場所》水俣高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/6(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	"That's Fake News" —アメリカのニュースメディア— シムズ ランダー プライアント グローバル教育カレッジ 講師	2階 大会議室	51	51	0	46	0	5	100%
	2限目 (10:45-12:15)	2	黄金分割と黄金数を巡って 古島 幹雄 副学長	2階 大会議室	51	51	0	47	0	4	100%
(合計)					102	102	0	93	0	9	96%

3. 《開催場所》天草高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/20(土)	1限目(同時開催) (13:30-15:00)	1	日常生活における契約 - いつでも約束は守らないといけない? 濱田 絵美 法学部 講師	視聴覚教室	17	17	8	6	2	1	100%
	1限目(同時開催) (13:30-15:00)	2	養殖海苔の不思議な生き方(光合成のしくみ) 瀧尾 進 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授	2階 学習センター	23	21	1	18	0	2	91%
(合計)					40	38	9	24	2	3	95%

～ 令和元年度サテライトプログラム 実施状況 ～

4. 《開催場所》大津高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
8/31(土)	1限目(同時開催) (13:30-15:00)	1	経済学とはどのような学問なのだろうか ー公共経済の問題について実験を通して考えてみようー	教室 (2年3組)	29	26	25	0	0	1	90%
			大野 正久 教育学部 准教授								
	1限目(同時開催) (13:30-15:00)	2	薬を知ろう! ー薬学がもたらす幸福社会の実現に向けてー	視聴覚室	43	41	31	9	0	1	95%
			首藤 剛 薬学部 准教授								
(合計)					72	67	56	9	0	2	93%

5. 《開催場所》人吉高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/28(土)	1限目(同時開催) (13:30-15:00)	1	人吉球磨の妖怪文化ーアニメ「夏目友人帳」の 舞台をめぐる旅ー	視聴覚室	53	53	23	9	14	7	100%
			鈴木 寛之 文学部 准教授								
	1限目(同時開催) (13:30-15:00)	2	科学と工学をつなぐ「情報」の世界ーついでに AI・ビッグデータの話もー	大会議室	26	26	8	7	8	3	100%
			飯田 全広 工学部 教授								
(合計)					79	79	31	16	22	10	100%

6. 《開催場所》玉名市民会館
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
10/5(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	最強の癌・小細胞肺癌を解剖する	第1会議室	118	114	106	0	0	8	97%
			伊藤 隆明 医学部医学科 教授								
	2限目 (10:50-12:20)	2	Organized Humanitarianism - The Birth of the Red Cross 「人道主義の組織化ー赤十字の誕生」	第1会議室	120	116	105	0	0	11	97%
			小池 ウルストラ ヘレナ グローバル教育カレッジ 教授								
(合計)					238	230	211	0	0	19	97%

7. 《開催場所》鹿本高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
10/26(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	不思議な水と二酸化炭素の話	セミナー ハウス	47	47	43	1	0	3	100%
			キタイン アルマンド ティビギング グローバル教育カレッジ 教授								
	2限目 (10:45-12:15)	2	会社という「人」/消費者という「弱者」	セミナー ハウス	43	44	37	4	0	3	102%
			若色 敦子 人文社会科学研究所 准教授								
(合計)					90	91	80	5	0	6	101%

サテライト プログラム	申込人数	参加者数	参加者内訳				参加率
			1年生	2年生	3年生	他・不明	
(総合計)	924	896	624	194	26	52	97%

※他・不明は、教員及び学年不明の者

高校生のための 熊大 ワクワク連続講義

～ 令和元年度熊本大学夏季プログラム 実施状況 ～

《開催場所》熊本大学黒髪北キャンパス 全学教育棟 E107教室・C201教室・C202教室・C301教室
 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル		会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局					1年生	2年生	3年生	他・不明	
8/8 (木)	1限目 (10:25-11:55)	1	ことばがなくても伝わる!?～心理学の世界への誘い～ 川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授		E107 教室	195	160	74	72	13	1	82%
	2限目 (12:55-14:25)	2	ナノサイズのものづくり～日常生活から地球環境保全まで～ 吉本 惣一郎 工学部 准教授		C201 教室	90	62	24	34	4	0	69%
	3限目 (14:40-16:10)	3	心臓、血管の不思議 河野 宏明 医学部保健学科 教授		C202 教室	105	78	36	30	11	1	74%
8/10 (土)	1限目 (10:25-11:55)	1	マンガやアニメなど、身近な文化資源を学問する 水元 豊文 文学部 教授		C301 教室	113	97	43	52	2	0	86%
	2限目 (12:55-14:25)	2	からだの仕組みを解き明かそうー医学研究のすすめー 緒石 寿朗 医学部医学科 准教授		C201 教室	70	55	30	24	1	0	79%
	3限目 (14:40-16:10)	3	世界を支えるMRI技術 米田 哲也 医学部保健学科 准教授		C202 教室	92	69	30	33	6	0	75%
(合計)						665	521	237	245	37	2	78%

※他・不明は、教員及び学年不明の者

令和元年6月15日(土)

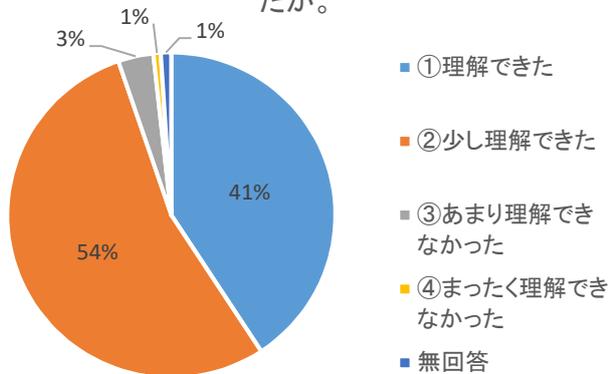
受講者数 289 名

アンケート回答数 287 名

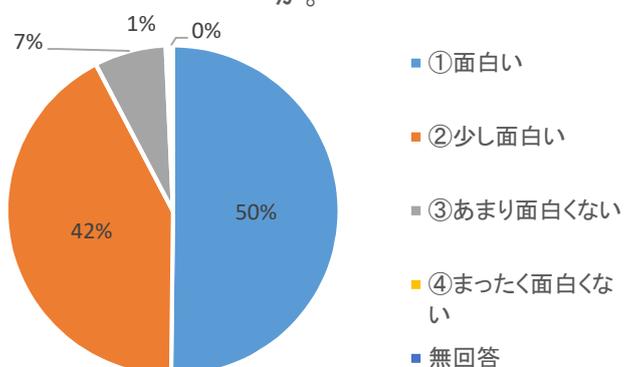
学年	人数
1年	237
2年	47
3年	2
教員・不明	1
合計	287

性別	人数
男	133
女	153
無回答	1
合計	287

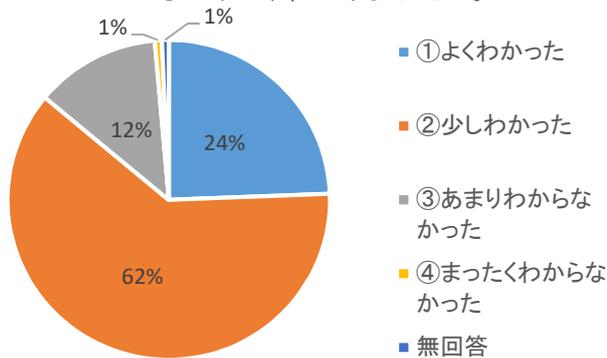
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



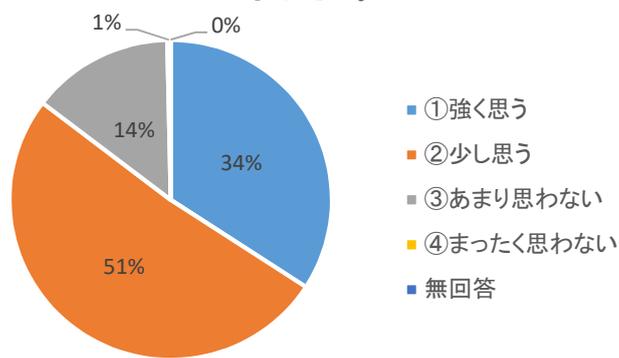
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



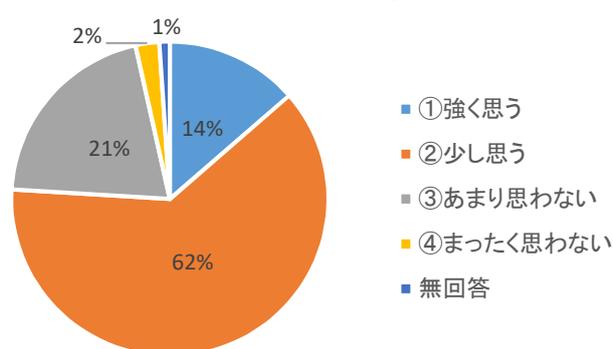
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学び
たいと思いましたか。



令和元年7月6日(土)

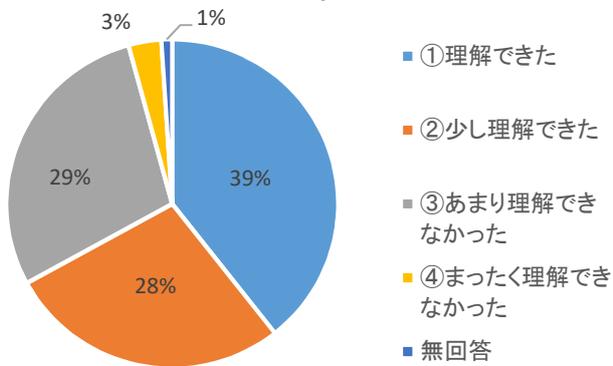
受講者数 102 名

アンケート回答数 94 名

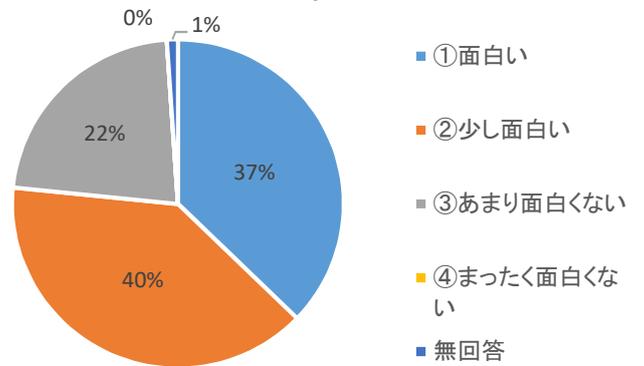
学年	人数
1年	0
2年	93
3年	0
教員・不明	1
合計	94

性別	人数
男	37
女	56
無回答	1
合計	94

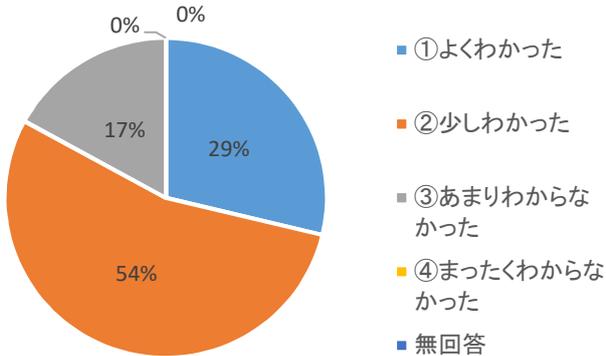
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



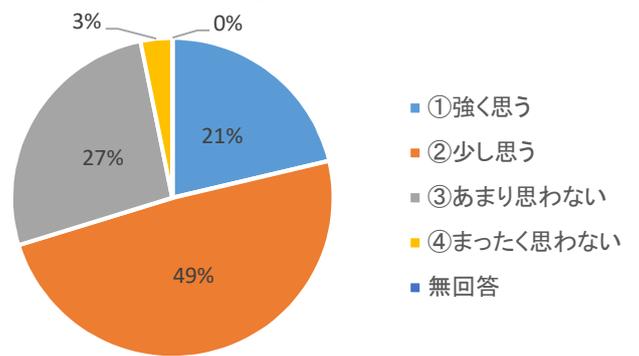
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



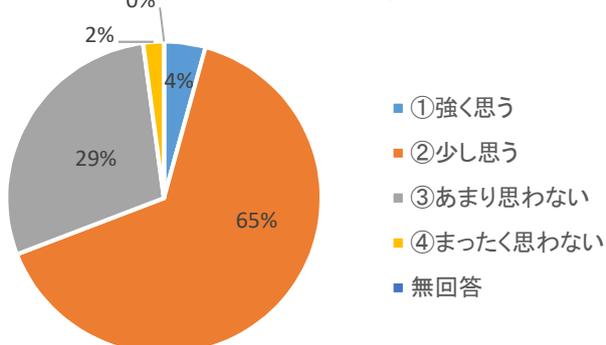
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思
いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学びた
いと思えましたか。



令和元年7月20日(土)

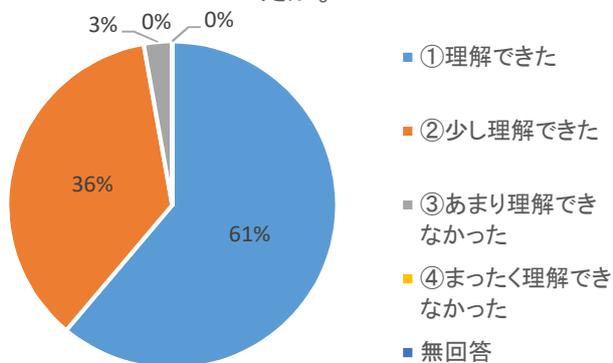
受講者数 38 名

アンケート回答数 36 名

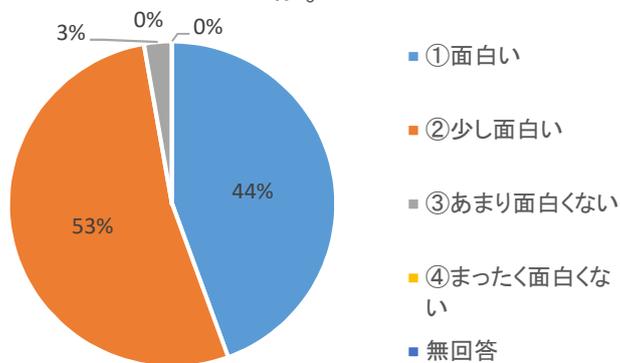
学年	人数
1年	9
2年	24
3年	2
教員・不明	1
合計	36

性別	人数
男	16
女	20
合計	36

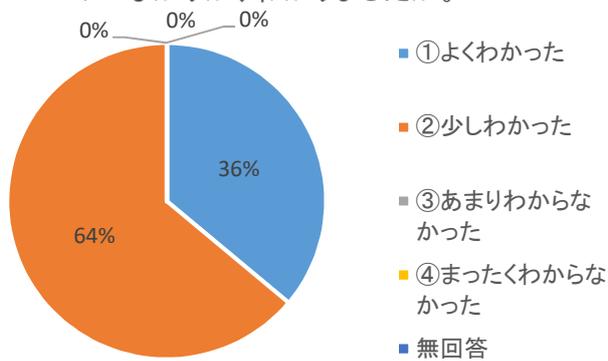
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



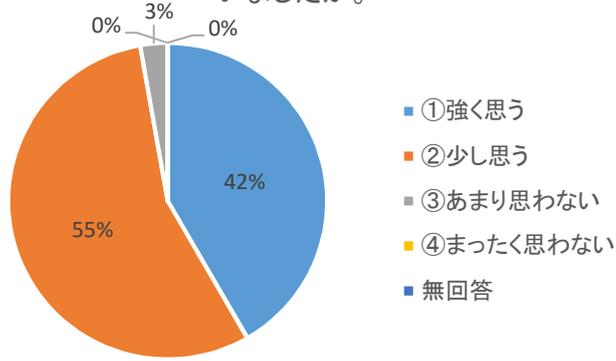
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



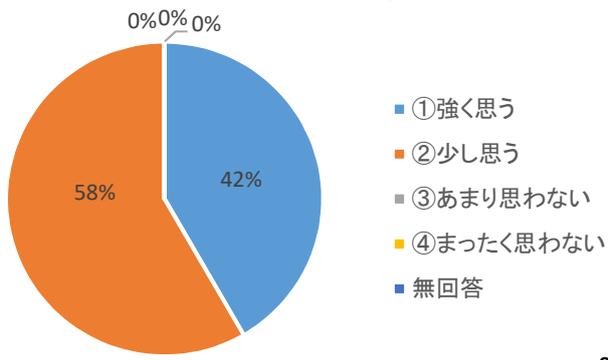
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学び
たいと思いましたか。



R1熊大ワクワク連続講義 夏季プログラム 受講者アンケート

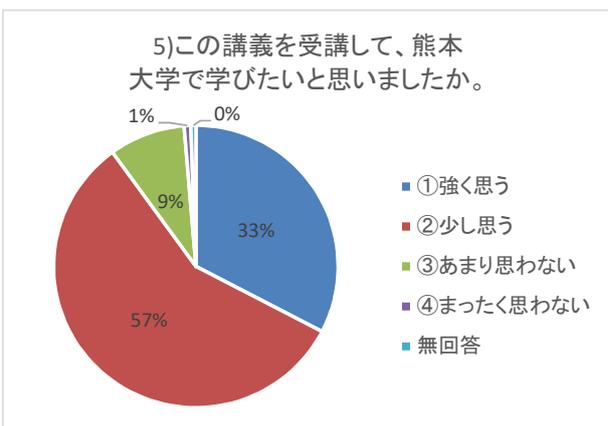
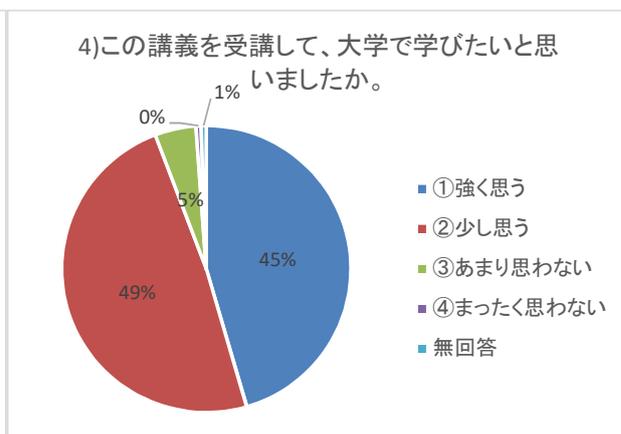
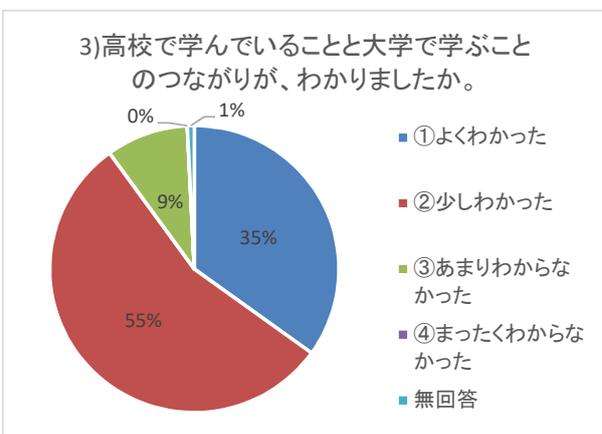
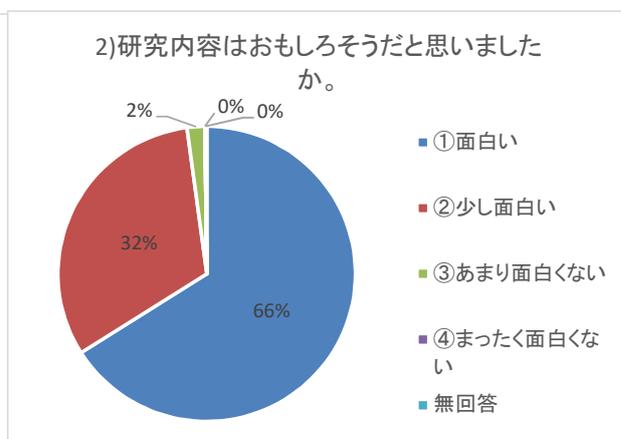
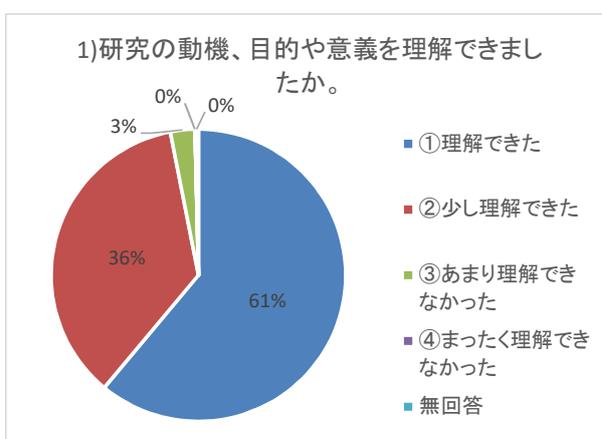
8月8日(木)・10日(土)

受講者数 521 名

アンケート回答数 521 名

学年	人数
1年	237
2年	245
3年	37
教員・不明	2
合計	521

性別	人数
男	147
女	372
無回答	2
合計	521



R1熊大ワクワク連続講義 大津高校 受講者アンケート

令和元年8月31日(土)

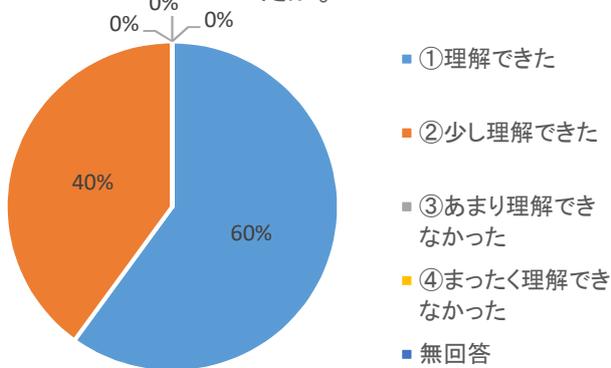
受講者数 67 名

アンケート回答数 65 名

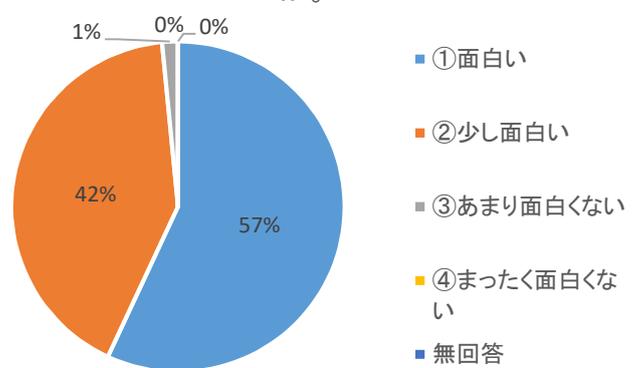
学年	人数
1年	56
2年	9
3年	0
教員・不明	0
合計	65

性別	人数
男	39
女	25
無回答	1
合計	65

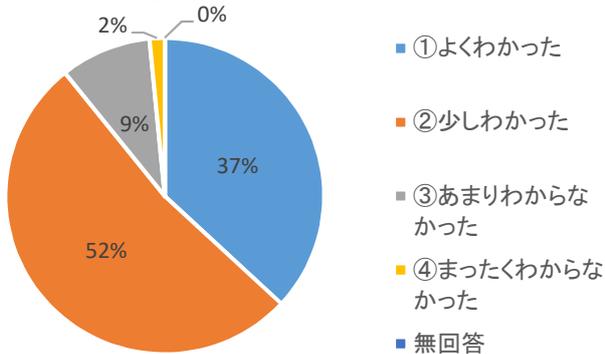
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



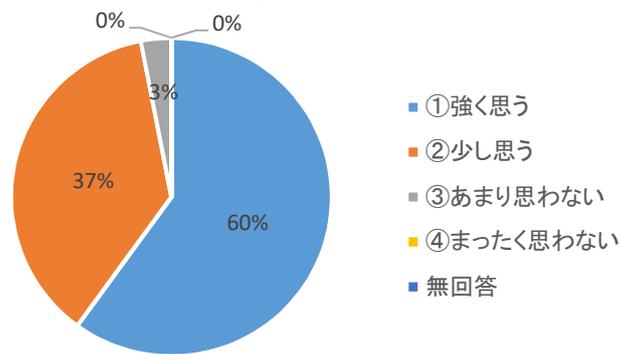
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



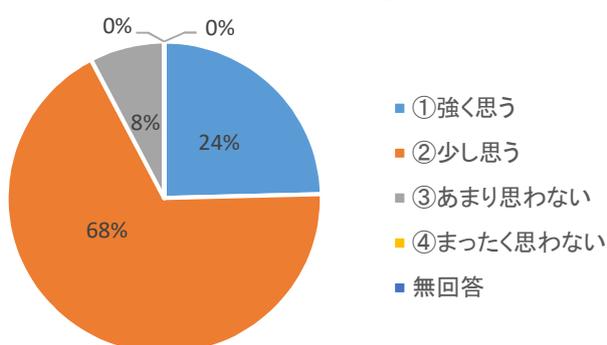
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学び
たいと思いましたか。



令和元年9月28日(土)

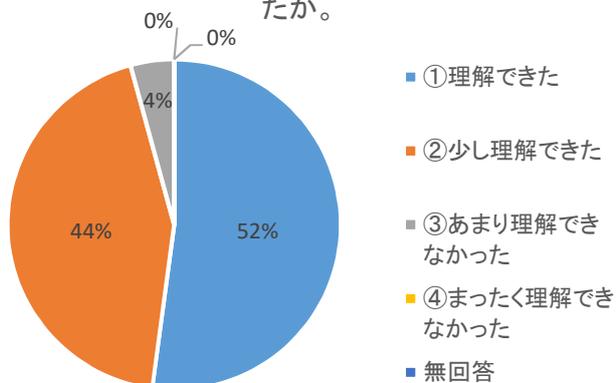
受講者数 79 名

アンケート回答数 71 名

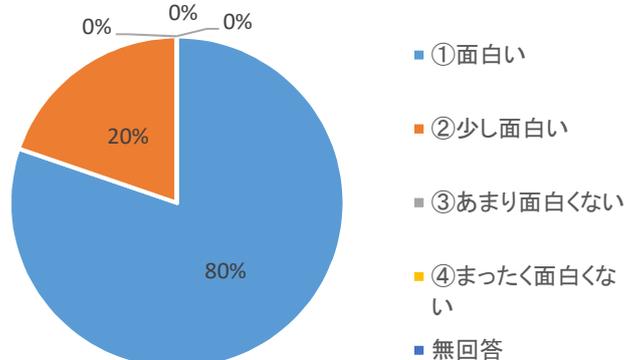
学年	人数
1年	31
2年	16
3年	22
教員・不明	2
合計	71

性別	人数
男	26
女	44
無回答	1
合計	71

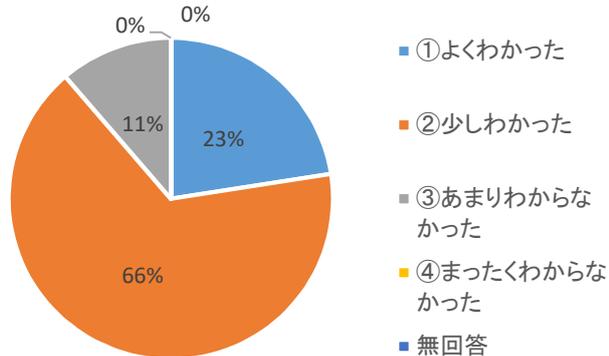
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



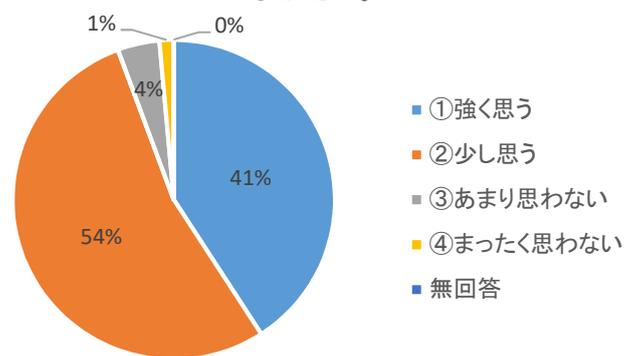
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



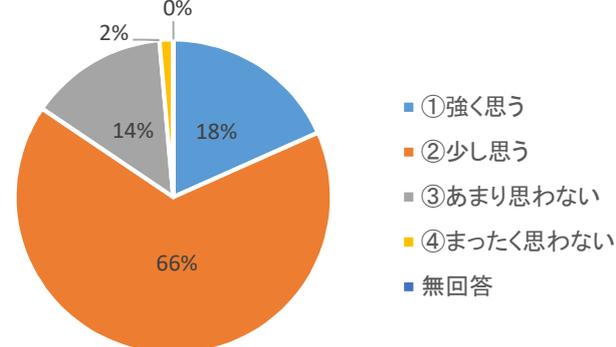
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学び
たいと思いましたか。



令和元年10月5日(土)

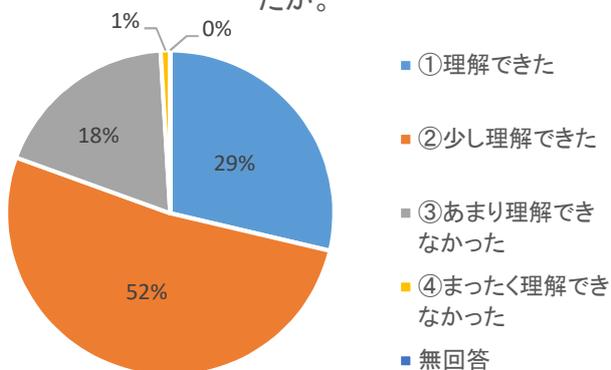
受講者数 230 名

アンケート回答数 216 名

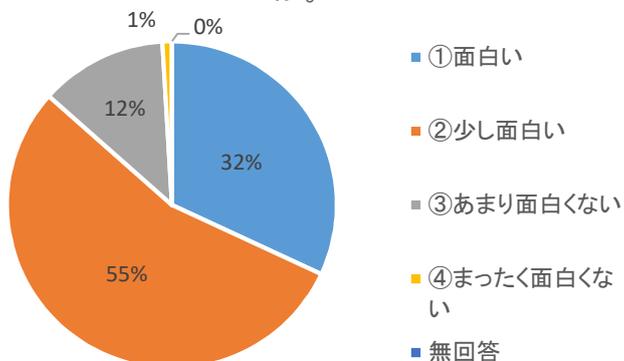
学年	人数
1年	211
2年	0
3年	0
教員・不明	5
合計	216

性別	人数
男	103
女	113
無回答	0
合計	216

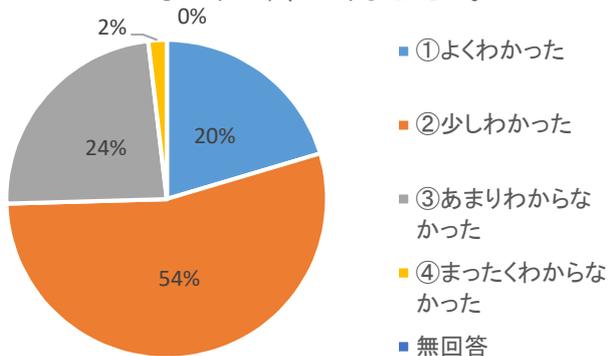
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



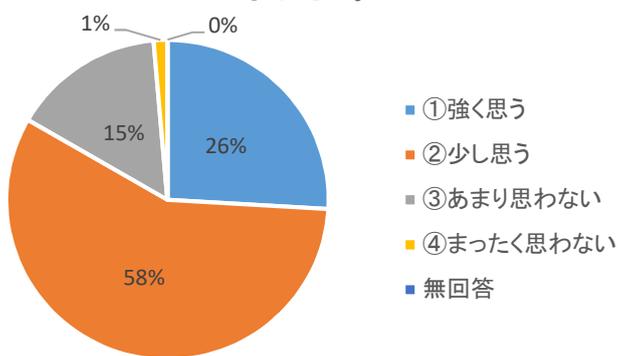
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



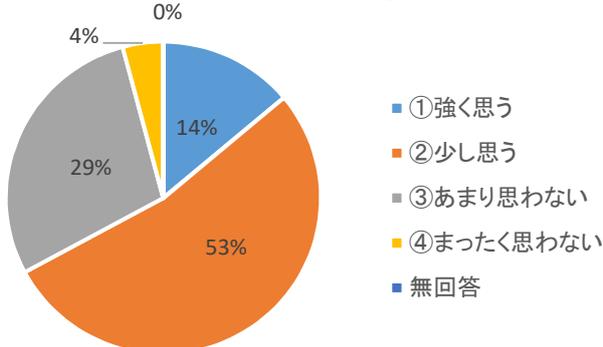
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思
いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学びた
いと思えましたか。



令和元年10月26日(土)

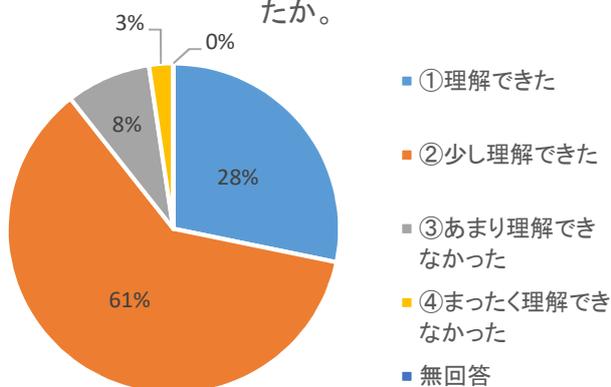
受講者数 91 名

アンケート回答数 85 名

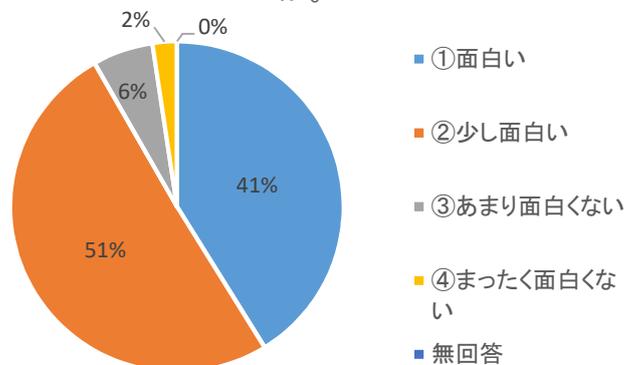
学年	人数
1年	80
2年	5
3年	0
教員・不明	0
合計	85

性別	人数
男	30
女	55
無回答	0
合計	85

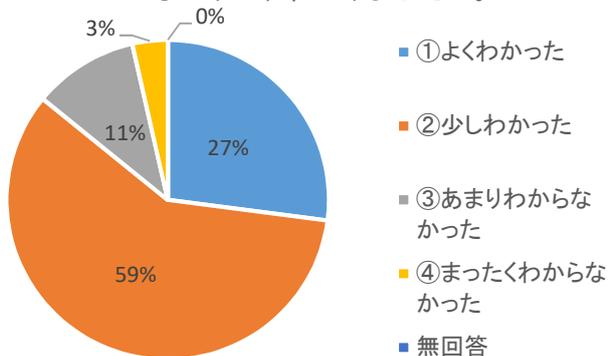
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



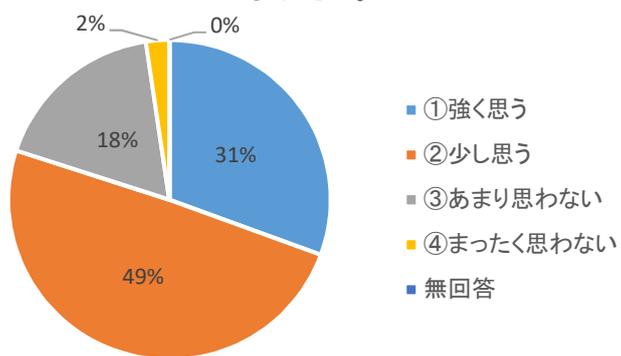
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



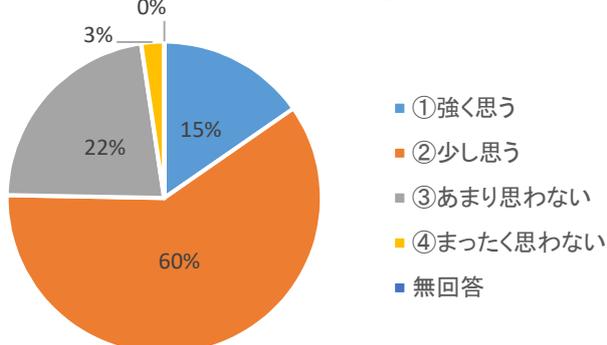
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学び
たいと思いましたか。



令和元年度熊大ワクワク連続講義 全受講者アンケート

受講者数 1417 名

アンケート回答数 1375 名

【全講座】

学年	人数
1年	861
2年	439
3年	63
その他	12
合計	1375

【全講座】

性別	人数
男	531
女	838
無回答	6
合計	1375

1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。

①理解できた	②少し理解できた	③あまり理解できなかった	④まったく理解できなかった	無回答
656	602	102	9	6

2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。

①面白い	②少し面白い	③あまり面白くない	④まったく面白くない	無回答
737	545	85	5	3

3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。

①よくわかった	②少しわかった	③あまりわからなかった	④まったくわからなかった	無回答
399	786	174	10	6

4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。

①強く思う	②少し思う	③あまり思わない	④まったく思わない	無回答
520	695	144	13	3

5)この講義を受講して、熊本大学で学びたいと思いましたか。

①強く思う	②少し思う	③あまり思わない	④まったく思わない	無回答
300	817	227	25	6

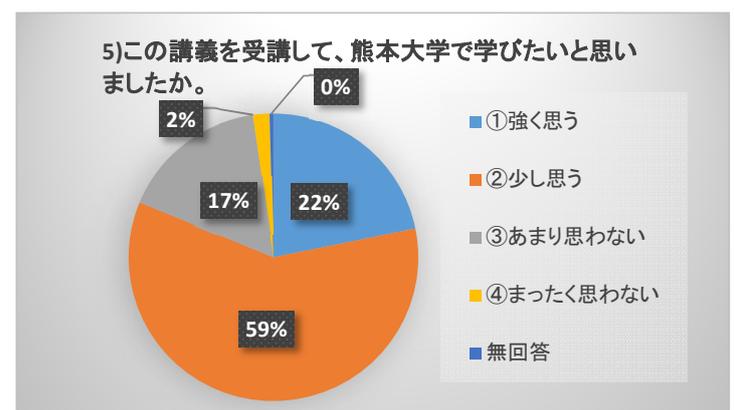
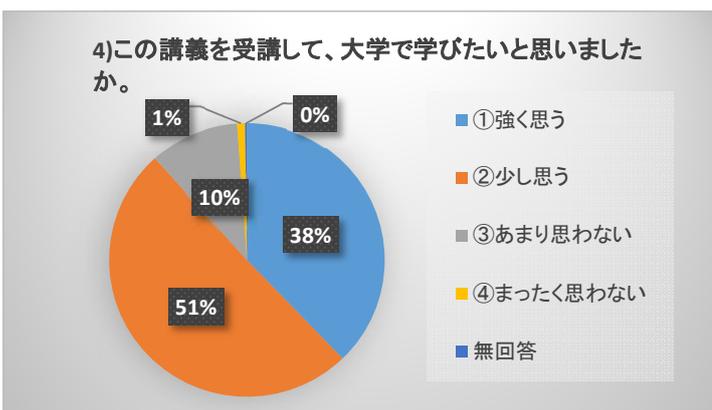
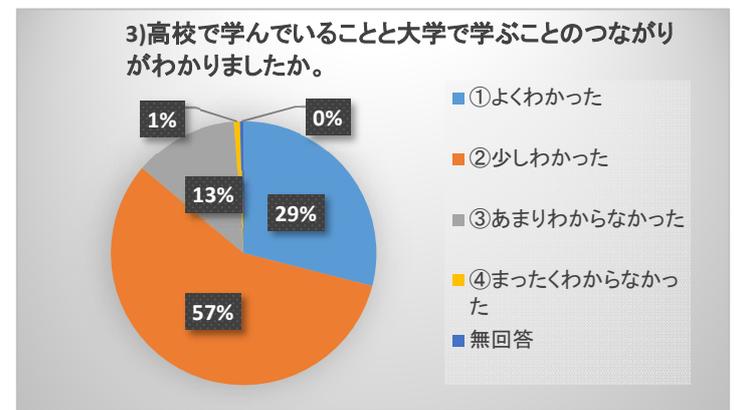
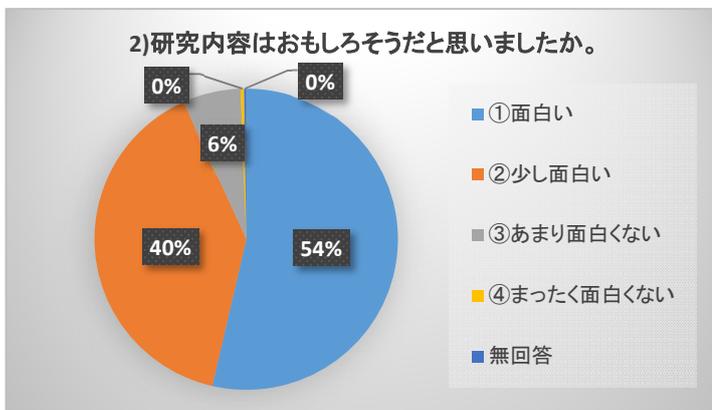
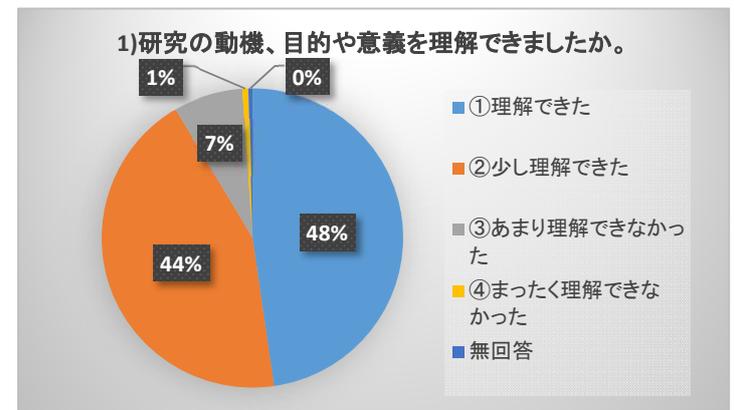
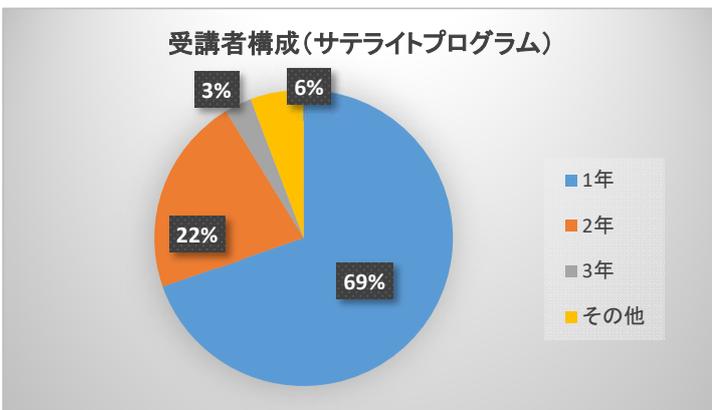
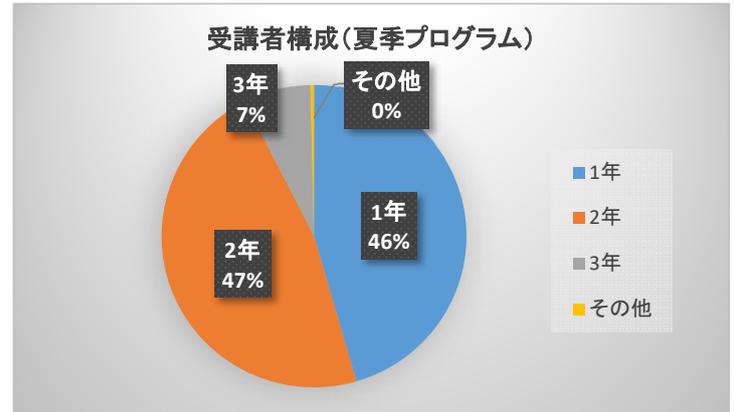
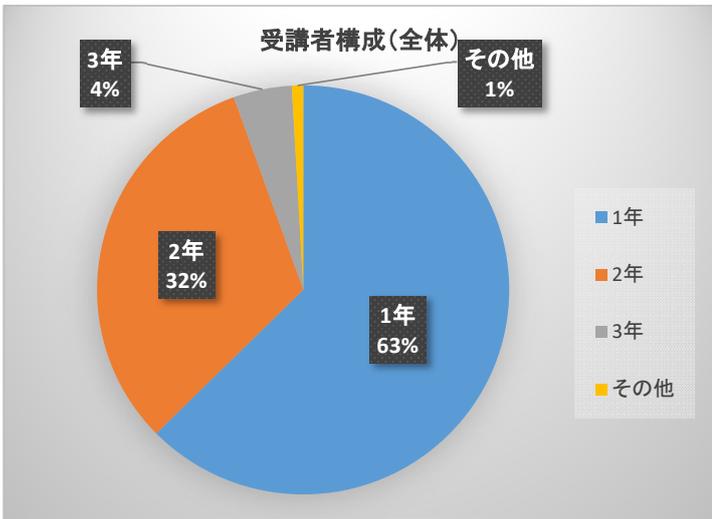
【夏季】

学年	人数
1年	237
2年	245
3年	37
その他	2
合計	521

【サテライト】

学年	人数
1年	624
2年	194
3年	26
その他	52
合計	896

※その他・・・教員及び学年不明の者



ワクワク連続講義風景



【八代サテライト】



【水俣高校】



【天草高校】



【大津高校】



【人吉高校】



【玉名サテライト】



【鹿本高校】



【夏季プログラム】

3. ワクワク研究室訪問

【ワクワク研究室訪問について】

高校生が興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いたり、部活動等で行っている研究について助言を求めるために、テーマと関係のある研究室を訪問するものです。

(1)1回の訪問で、1時間程度、1～3名程度を基本とします。訪問したい時期については、いくつかの可能な時期、曜日、時間帯を書いて下さい。2回目以降の訪問については、訪問した研究室の教員との話し合いで決まります。なお、2回目以降もその都度、高大連携推進室へ申し込みが必要です。

(2)希望する学部（分野）、教員名（わからなければ空欄でよい）、これまで興味を持って取り組んだこと、訪問の目的を記入の上、高等学校の先生を通して高大連携推進室へ提出してください。研究室によっては受入が困難なところもあり、必ずしもご希望に添えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

(3)訪問後は毎回200字～300字程度のレポート提出を2週間以内に高大連携推進室へお願いします。

(4)実験を行う場合は、保険の加入をお願いいたします。また、実験の費用については、研究室の教員と高校との話し合いによって決めさせていただきます。

以上の件をご了解いただき、お申し込みくださいますようお願いいたします。

この件に関する問い合わせ先・申込用紙、レポートの提出先：

熊本大学高大連携推進室 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1 096-342-2712

FAX:096-345-1954

E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ワクワク研究室訪問 訪問申込用紙

訪問希望者氏名	(学年：)
グループメンバー氏名 (同行予定者)	(学年：) (学年：)
希望学部名 (分野)	
希望教員名 (空欄可)	

《訪問したい時期について》

第一希望	第二希望	第三希望
時期： 時間帯：	時期： 時間帯：	時期： 時間帯：

これまで興味を持って取り組んできた学習や研究 (活動) 内容について

訪問の目的 (研究室にて指導をお願いしたいことはどんなことですか?)

高等学校指導教員記入欄 ※大学からは高等学校へ連絡をさせていただきます。

高等学校名：

指導教員名：

高等学校住所：

高等学校電話番号 (連絡先)：

FAX：

高等学校 E-mail：

送付先 E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）実施要領

1. 目的

高い学習意欲を持つ高校生が、興味・関心を持つ学問分野への理解を一層深めるとともに、創造性や才能を伸ばすことができるように、本学の研究室を訪問し、高度な教育・研究に触れる機会を提供する。

2. 趣旨

- (1) 高校生が、興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いて、知的刺激を受ける。
- (2) 高校生が部活等で行っている研究について、テーマと関係がある研究室を訪問し、本学の教員に指導・助言を求める。

3. 実施方法

- 1) 高校生は、別紙申込用紙に希望する学部名（分野）、教員名（わからなければ空欄）、訪問の目的、訪問を希望する時期等を記載し、所属高校を通じて熊本大学高大連携推進室（以下「高大連携推進室」という。）に申し込む。
- 2) 高大連携推進室は、高校生が希望する研究室（教員）について、各学部の高大連携推進委員会委員等を通じて探し、該当する研究室に受諾の可否を照会する。
- 3) 研究室が高校生の訪問を受諾する場合、高大連携推進室は高校に回答するとともに、訪問時期の調整を行う。
- 4) 研究室訪問は、基本的に1～3名、月1回、1時間程度とする。高校生が2回目以降の訪問を希望し、教員が受諾する場合、その時期や回数等は教員の判断するところとする。受諾の可否について、教員は高大連携推進室に連絡する。なお、高校生は、2回目以降もその都度、別紙申込書を高大連携推進室に提出する。
- 5) 高校生に研究室での実験を許可する場合は、実験を開始する前に高校生に保険に加入してもらうので、教員は高大連携推進室に連絡する。実験の費用については、教員と高校との話し合いによって決める。
- 6) 高校生は、研究室訪問後毎回2週間以内にレポートを高大連携推進室に提出する。
- 7) 高校生を積極的に受け入れたい研究室においては、URL等で研究の内容を公開し、高大連携推進室に連絡する。

令和元年度ワクワク研究室訪問実施件数

	学 部	申込件数	実施件数
県内	文学部	1	1
	法学部	0	0
	教育学部	0	0
	工学部	0	0
	理学部	0	0
	医学部	4	4
	薬学部	0	0
	県外		0
合計		5	5

◎訪問者一覧

県内 (3校)	県外 (0校)
熊本県立八代高等学校 1件 4名 (3年生：女、教員1)	/
熊本県立熊本高等学校 2件 2名 (2年生：女)	
熊本学園大学附属高等学校 2件 3名 (3年生：女)	
合計 5件 9名	

【訪問者の感想（一部抜粋）】

- ・文学や言語に対する関心をさらに高めることができた。
- ・伺ったお話をもとに感染症を調べていきたいと思います。
- ・最先端の専門的な話をわかりやすく教えていただき、医療の素晴らしさを感じるとともに、人間の体の精巧さに感動しました。
- ・今回の貴重な経験を将来に活かしていきたいです。
- ・研究室訪問で、より一層放射線について詳しいことを学びたいと考えました。

4.令和元年度高大連携推進 関係主要行事一覧

令和元年度高大連携推進プロジェクト関係主要行事一覧

月	日	曜日	実施行事	備考
R1 (H31)				
4			「ワクワク研究室訪問」 随時受付開始	
5	17	金	第1回高大連携推進委員会	全学委員会
6	15	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト八代	2コマ
6	28	金	第1回企画専門委員会（書面会議 6/28～7/18）	副校長及び教頭先生とのWG
7	6	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 水俣高校	2コマ
7	20	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 天草高校	2コマ
8	8 10	木 土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 夏季プログラム	全2日間（6コマ）
8	31	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 大津高校	2コマ
9	28	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 人吉高校	2コマ
10	5	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト玉名	2コマ
10	26	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 鹿本高校	2コマ
R2				
2	19	水	第2回企画専門委員会	副校長及び教頭先生とのWG
3	19	木	第2回高大連携推進委員会（書面会議 3/19～3/24）	全学委員会

令和元年度
高校生のための熊大ワクワク事業の記録

令和2年3月

熊本大学高大連携推進室

電話 096-342-2712